

## 高峰地区 地区別計画書

- ◇地区別計画のキャッチフレーズ 清流白川にはぐくむ“たかみね”の未来
- ◇地区の将来像 自然環境の保全と生活環境の改善をはかり、高峰地域に育まれた歴史と伝統ある生活習慣を守り、快適で安心して定住できる地域づくりを進める。
- ◇地区の宝物 巨木①皂莢<sup>さいかち</sup>（西向）、②ぶな（東向）、③いちょう（橋本）、④変わり杉（中通）、赤岩薬師堂（東向）、白川ダム
- ◇次代に残したいもの 清流白川、伝統文化（観音講・庚申<sup>こうしん</sup>・念仏踊り等）、五人組制度、獅子舞（西向）

### ■ 地区の現状と課題：

- ・ 少子高齢化問題  
未婚者が多く子どもが減少しており、後継者が地区内に定住せず地区外に流出している。
- ・ 白川の水質などの維持管理  
水が汚れており、以前のような清流とはいえない状態である。白川の水をもっと清流に戻したい。
- ・ 高齢者対策  
高齢化により一人暮らしの高齢者世帯が増加しているが、高齢者世帯の生活環境の整備（冬期の除雪等）が遅れている。
- ・ 商店の減少  
ニーズが減り、地域の商店が減少してきている。
- ・ 使われていない農地の拡大  
地主の高齢化、後継者がいない等の理由から休耕田・荒廃地が増えてきている。
- ・ 雪への対策  
高齢化が進み、除雪作業が困難な世帯が増加している。冬期生活の不安や負担の軽減をはかることが課題。

■ 10年後の将来ビジョン：

(にぎわいあふれるまちづくり)

- ・豊かな自然環境を利用して、都市部との交流をはかる。それに関連して集落環境の整備や公園を設置する。
- ・未婚者対策を高峰地区最大の課題として共有し、婚活等あきらめず粘り強く推進する。

(自然と共生するまちづくり)

高峰地区は、全集落が白川に接している唯一の地区でもあり、白川河川の維持や利活用に力を注ぐ。

- ・白川河川環境の改善（立ち木の伐採等）
- ・白川沿いへ桜やモミジ並木の整備

(生きがいと笑顔のまちづくり)

お年寄りが安心して暮らせる仕組みづくりとして、防災設備や除雪整備の充実。単身老人の冬期間共同生活の推進や健康教室の開催。

(豊かな感性を育むまちづくり)

世代を超えた地域交流ができるような場づくりのために、子どもから高齢者まで一緒に参加できるイベントを開催（例：畑の学校）

(こだわりの産業づくり)

自然エネルギーを活用すること、太陽光発電、雪を活用し集落ごとにミニ雪室を作るなどの地域エネルギーの導入・普及。山菜・野菜の直売所の設置

(安全・快適なまちづくり)

融雪対策として河川水利用といった仕組みづくりを促進することと、老朽化した橋の架け替えを行う（赤岩橋、橋本橋、毛下野橋、西高峰橋）

(自治組織等の改革・改善)

地区、部落及び任意組織等の改革改善を図り、効率のよい活気ある組織機構づくりを目指す。

■ 将来に向けた重点事業

行政主体の事業	地域主体の事業
橋の架け替え工事 (赤岩橋、橋本橋、毛下野橋、西高峰橋)	河畔周辺の整備 (支障木の伐採・河畔ミニ公園の設置・桜・モミジ並木整備)
下水道事業（農業集落排水、個別処理）	・野菜、山菜の直売所の設置。地域伝統文化の再生策の検討や木工家具づくり ・ミニ公園の設置や公民館周辺の整備
県道米沢一飯豊線、西向地区と橋本地区内道路改良工事	・地区住民と子どもと一緒に参加できるイベントを開催 ・未婚者対策の普及啓蒙 ・地区内組織の見直し
高峰地区多目的集会施設の増改築	高峰地区多目的集会施設（公民館）の増改築 …地元負担金

## □ 5年間のうちに取り組むアクションプラン

	地区が主体となることができる活動 テーマ・内容	実施 時期	地区での 主体づくり	いつまでに何を する
取り組んでいくアクションプラン	<p>『白川河畔周辺の整備』</p> <p>高峰地区は、全集落が白川に接している唯一の地区でもあり、白川河川の維持や利活用に力を注ぎます。</p>	平成24年度～	地区協議会 各部落	<p>第1段階（平成24年度中）</p> <p>①協議会より各部落に実施の有無を提案します。</p> <p>②各部落で実施の有無を検討します。</p> <p>③実施の方向になったら全体で実行委員会を組織します。</p> <p>第2段階</p> <p>④支障木の伐採や桜の植樹を行います。</p> <p>⑤反省検討会を行い、次年度に向けた取り組みを検討します。</p>
	<p>『野菜・山菜の直売所の設置』</p> <p>休耕田や遊休農地などを活用し、付加価値のある特産品を生産し販売します。</p>	平成24年度～	地区協議会 各部落	<p>第1段階（平成24年度中）</p> <p>①協議会より各部落に実施の有無を提案します。</p> <p>②各部落で実施の有無を検討します。</p> <p>③実施の方向になったら全体で実行委員会を組織します。</p> <p>第2段階</p> <p>④転作田や遊休農地を活用し農産物生産、販売に取り組みます。</p> <p>⑤反省検討会を行い、次年度に向けた取り組みを検討します。</p>
	<p>『地域伝統文化の再生策の検討』</p> <p>10数年前までお盆に開催されていた「念仏踊り」。諸事情により現在は中止されているが、どうすれば再開できるか検討します。</p>	平成24年度～	地区協議会 各部落	<p>第1段階（平成24年度中）</p> <p>①協議会より各部落に実施の有無を提案します。</p> <p>②各部落で実施の有無を検討します。</p> <p>③実施の方向になったら全体で実行委員会を組織します。</p>
	<p>『ミニ公園の設置や公民館 周辺の整備』</p> <p>地区民全体で、周辺整備を行い、安全に遊べる場所づくりや、子どもから高齢者まで集えるような環境づくりを行います。</p>	平成23年度～	地区協議会 各部落 各分館	<p>第1段階（平成23年～5年間）</p> <p>①協議会より各部落に実施の有無を提案します。</p> <p>②各部落で実施の有無を検討します。</p> <p>③実施の方向になったら各部落の申し合わせにより、実施します。（西高峰・中通・橋本・東向・西向の5館）</p> <p>第2段階</p> <p>④各分館1館当たり80万円の予算内で公民館周辺の整備を行います。</p>

地区が主体となることができる活動 テーマ・内容		実施 時期	地区での 主体づくり	いつまでに何を する
取り組んでいく アクションプラン	<p>『地区住民と子どもと一緒に 参加できるイベントを開催』</p> <p>世代を超えた交流ができるような場づくりのために、子どもから高齢者まで一緒に参加できるイベントを開催します。</p>	平成24年度～	地区協議会 各部落 地区公民館 体育部	<p>第1段階（平成24年度中）</p> <p>①協議会より関係組織に実施の有無を提案します。</p> <p>②各々の組織に意見を聴取し、実施の有無を検討します。</p> <p>③実施の方向になったら全体で実行委員会を組織します。</p> <p>第2段階</p> <p>④高峰地区レクリエーション大会を開催します。</p> <p>⑤反省検討会を行い、次年度に向けた取り組みを検討します。</p>
	<p>『未婚者対策、高齢者対策、自治組織等の改革、改善策の推進』</p> <p>高峰地区が抱える問題、課題を整理共有し対応策を講じます。</p>	平成24年度～	地区協議会	<p>第1段階（平成24年度中）</p> <p>①協議会で検討します。</p> <p>②専門部会の設置を検討します。</p>
	<p>『高峰地区多目的集会施設 増改築事業の推進』</p> <p>地区民の活動の場、憩いの場である集会施設（公民館）が狭く、トイレも水洗化になっていないので、増改築を町に要望します。</p>	平成24年度～	地区協議会 地区公民館	<p>第1段階（平成24年度中）</p> <p>①協議会、公民館合同で検討します。</p> <p>②町と協議します。</p> <p>第2段階</p> <p>③負担金の対応策を協議します。</p>